

改装第20号

2006年6月25日発行

発行 福井県労働者福祉協議会

福井市問屋町1丁目35番地

電話 0776-21-5929

編集機関紙編集委員会

発行人 吉田哲夫

人と暮らし
環境に優しい
福祉社会の実現

ふくいろうふく

定期総会が開催され、新規活動を含めたこの一年間の活動報告と決算内容が承認された後、向う一年間の活動方針が満場一致で確認されました。社会全般の福祉に対する期待が膨らむ中、私たち労働者福祉のあり方も創意工夫が求められている時代であり、本総会はある意味で節目であったとも言えます。また任期を終えて退任する龍田副会長兼事務局長の後任には吉田哲夫氏（U.I・ゼンセン同盟出身）、さらには川崎周市氏（北陸労働金庫出身）が副会長に選任されました。

この一年間の活動が報告されました。昨総会において提案された方針がほぼ百パーセント実行されたことが中心でしたが、新しく加わった事案もありました。

- 事業団体役職員研修 半世紀以上の歴史を持つ労働金庫をはじめ、他の事業団体も四十年を数えるに至っています。これらの歴史はある意味で横の連携を薄める作用を生む可能性を秘めていることから、一度の再認識を目的

とした研修会を開催しました。全事業団体の関係者全員を対象としたものでした。

- 世界見聞ツアーワーク他国も見聞してもらうべく、初めてのツアーリーを実施しました。限られた日程の中では目的達成には不充分な感もありますが、初回としてマラッカ海峡を中心として見聞を広めました。
- 政策・制度の改善 地方議会での意見書採択を求めての陳情も実施されています。
- 自主福祉事業の強化・発展 私たちが自ら運営し

龍田副会長退任、新副会長に吉田、川崎氏

本年度は任期満了による役員の改選期にあたり、馬場会長の再任の外新役員体制となりました。六年七ヵ月務めた龍田清成副会長が退任し、新たに吉田哲夫、川崎周市氏が就任しました。

新役員名簿

役職	氏名	選出団体	備考
会長	馬場修一	連合	再
副会長	吉田哲夫	員外(専従)	新
"	荒谷一井	労働金庫	再
"	毛利利夫	全労済	再
"	松本昌三	連合	再
"	川崎周市	員外(専従)	新
事務局長	吉田哲夫	副会長兼務	新
幹事	朝倉明哉	連合	再
"	久保主計	連合	新
"	坂本卓也	連合	新
"	中村俊哉	連合	再
"	福田正人	連合	再
"	牧野恭英	連合	再
"	坪内佳久	連合	再
"	今田文尚	連合	新
"	岩崎真次	連合	再
"	本儀皇康	労働金庫	新
"	藤川武夫	県民生協	再
"	峯田則雄	労信協	再
"	佐々木哲男	勤住協	再
"	田中一	旅行センター	再
"	山崎清澄	労働福祉会館	再
監事	斎藤重範	連合	再
"	成田正一	全労済	再

(2006年5月30日～2008年5月総会まで)

去る五月三十日労福協第四回定期総会が開催され、新規活動を含めたこの一年間の活動報告と決算内容が承認された後、向う一年間の活動方針が満場一致で確認されました。社会全般の福祉に対する期待が膨らむ中、私たち労働者福祉のあり方も創意工夫が求められている時代であり、本総会はある意味で節目であったとも言えます。また任期を終えて退任する龍田副会長兼事務局長の後任には吉田哲夫氏（U.I・ゼンセン同盟出身）、さらには川崎周市氏（北陸労働金庫出身）が副会長に選任されました。

○各分野の事業展開 多岐に亘る分野ですが、くらしなんでも相談は次年度以降の実施方法の試金石としての年となります。

○文化・体育・研修等 新規となる男の料理教室、退職目前の人を対象としたセミナー等男性、高齢者に目を向けた内容を取り入れて

これらの事業達成に向かって
役職員が鋭意努力します。

会の再編、諸相談に対して素早く解決を目指すための「ワンストップサービス機構（仮称）」を設置する準備に入ります。さらに公益法人格を持つ事業団体の会計事務の共同化を本年度中に実施します。加えて事業の共同化も視野に入れられた協議を開始することになります。

税務研修会開催します

例年行っている税務に関する研修会を次のとおり開催します。義務は当然果たさなければなりませんが、不安な納税はしていないか、研修でしっかり修得しましょう。案内は組合へ送付しています。（個人の参加も可）

日時 7月10日 13時30分

場所 ユニオンプラザ福井

講師 小酒井 雄三 税理士